

ふくしま共創のまちづくり計画 中央西地区（素案）

作成：中央西地区ふくしま共創の
まちづくり計画策定懇談会
事務局：福島市役所 地域共創課内
電話：（０２４）５２５－３７３１

地域ビジョン

「県都の玄関口として、訪れる人も住む人も
温かさにとぎわいを感じられるまち」

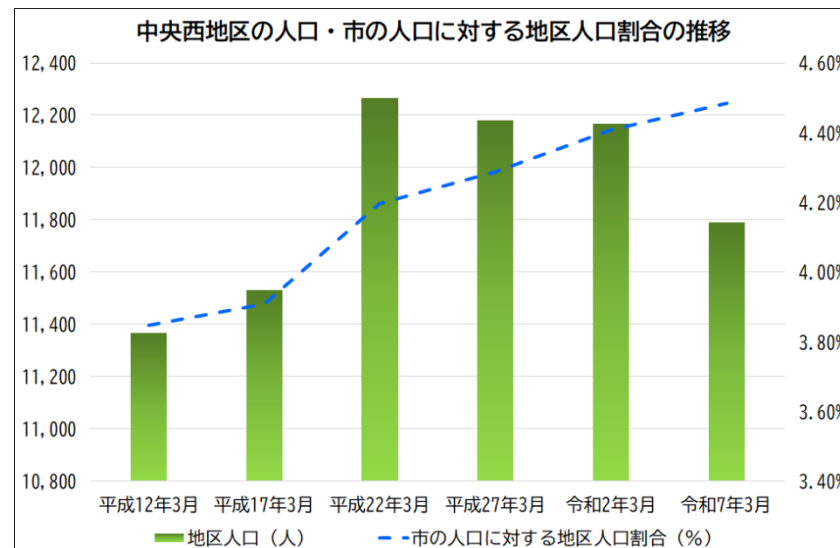
「住民が互いに助け合う気持ちを持ち、
地域全体が安全・安心で心地良く生活できるまち」
「幅広い世代、企業と町内会や地域団体などが
地域で垣根を越えて交流する明るいまち」



【コラッセふくしまから中央西地区を望む】

地域の個性

- 【位置】ＪＲ福島駅の西側に位置し、本市の副都心として高層集合住宅などが建設され、住宅地として発展し、市内でも都市化の進んだ地区となっています。
- 【交通】ＪＲ福島駅西口から西に伸びる高湯街道（主要地方道福島・吾妻・裏磐梯線）沿いには、さまざまな商業施設が立地しにぎわいを見せています。幹線道路の都市計画道路 方木田茶屋下線の下野寺工区（野田町地内）の供用後、都市計画道路 腰浜町町庭坂線との接続がなされたことにより、交通の利便性が飛躍的に向上し、地域の活性化に大きく寄与しています。
- 【公共施設等】産業交流プラザ（シェアオフィス・コワーキングスペース・会議室等）や図書館などの行政機能と観光物産館を備えた複合施設「コラッセふくしま」をはじめ、三河台学習センター、大型商業施設、娯楽施設、宿泊施設、医療機関、金融機関など多くの施設があります。三河台学習センターの建て替えにより、生涯学習のさらなる推進と地域住民にとっての集いの場としての機能が充実しています。
- 【自然環境】地区の南端には、本市を代表する清流荒川が流れ、荒川運動公園は、市民の憩いの場として親しまれています。



中央西地区の基礎データ（R7.9末現在）			
項目	中央西地区	市全体	
面積	2.70km ²	767.72km ²	
人口（人）	11,725	262,122	
	（市全体の4.5％）		
	15歳未満	1,369	29,778
		11.7％	11.4％
15～64歳	7,281	148,788	
	62.1％	56.8％	
65歳以上	3,075	83,556	
	26.2％	31.9％	
世帯数	5,971世帯	125,001世帯	

地域の取り組みの実績

- （１）児童生徒の登下校時の見守り隊活動：交通安全母の会、交通安全協会、交通安全対策協議会などが連携し見守り活動を行っています。
- （２）一戸一灯運動：門灯、玄関灯を一晩中点灯し、夜間の犯罪発生を予防する環境をつくっています。
- （３）三河台学習センターに史跡・住居表示板を設置：地域の要所を紹介する表示板を設置しました。
- （４）町会だよりの発行：各町会独自のたよりを発行し地域コミュニティの推進を図っています。
- （５）花いっぱい運動：共同作業を通して地域環境の美観整備に取り組んでいます。
- （６）史跡探訪マップ作成と名所案内看板の設置：三河台歴史愛好会の協力を得て史跡紹介のまち歩きマップを作成し、マップに掲載している史跡の案内看板を設置しました。
- （７）みんなで歩こうみかわだいの実施：三河台学習センターや地区体育協会と連携し、三河台地区の史跡を巡るなど参加者同士の交流を深めています。

地域の強みとなる資源

- （１）新しい三河台学習センター
地域住民にとって集いの場としてだけでなく、学習センターとの連携により世代間交流やまちづくりに関する新たな取り組みが期待できます。
- （２）地域内に存在する史跡や名所
神社、旧街道など歴史的・文化的価値のある史跡や名所が数多く存在します。
- （３）コラッセふくしま
行政機能や観光物産館を備えた複合施設として地区を代表する集客力を誇ります。
- （４）市を代表する地元企業
製造業のまちとして発展し、近年ではベンチャー企業や大型商業施設が立地しています。



【建て替えされた新三河台学習センター】

地域課題

- （１）ＪＲ福島駅西口周辺を中心としたにぎわいの創出
- （２）幹線道路と生活道路の円滑な接続や狭い道路の改良など、交通の安全対策への取り組み
- （３）地域住民と児童生徒の登下校時の見守り隊、警察などとの連携による防犯対策の強化
- （４）地域住民の交流と相互に助け合う地域づくりの推進
- （５）教育機関と連携した世代間交流と若者が主体的にまちづくりに参画する環境づくり
- （６）子ども会・育成会活動等の活性化
- （７）企業等との連携による安全で安心なまちづくりの推進と地域活性化

重点的な取り組み

I にぎわいの創出

- 【方 針１】ＪＲ福島駅西口周辺のにぎわいづくりを推進します。
- （継続）ＪＲ福島駅西口周辺のイベントや地域の祭り、盆踊りの開催などにより、一年を通じて交流活動を積極的に行います。
- （継続）コラッセふくしまや福島駅西口周辺の催し物の周知に力を入れ、若者の参加を促します。
- （継続）ＪＲ福島駅西口やコラッセふくしまへの来訪者や中央西地区への転入者に対して、イベント会場、公園、史跡などの要所を紹介し、新たな人の流れを生み出します。

II 安全・安心なまちづくり

- 【方 針１】地域の交通安全と防犯対策を推進します。
- （継続）街路灯の点検・整備や一戸一灯運動を推進するとともに空き家の位置を把握し防犯対策を強化します。
- （継続）外出の際には、鍵かけの徹底や近隣への声かけを推進します。
- （継続）町内会が地元警察署や交通安全協会など関係団体と連携して町内パトロールに取り組みます。
- （継続）道路等の危険箇所を把握し、子どもや高齢者にやさしい安全で快適な道路環境を守ります。
- （継続）街頭指導や交通安全旗の設置などを通して、交通マナーの向上や交通安全運動の啓発を推進します。
- 【方 針２】子どもたちの安全確保を図ります。
- （継続）児童生徒の登下校時の見守り隊活動を継続して実施します。
- 【方 針３】災害に対する備えを充実させます。
- （継続）町会を単位とした自主防災組織による、定期的な防災訓練を実施します。
- （継続）各町会と民生児童委員、福祉協力員が連携して高齢者世帯と一人暮らし世帯を把握し、災害時に自力での非難が困難な高齢者・障がい者などの避難行動要支援者への支援体制を整えます。

III 三河台学習センターの利活用

- 【方 針１】三河台学習センターを中心に、他の施設等も活用しながら、幅広い年代にわたる地域の人々の交流を進めます。
- （継続）自己実現やよりよく生きるために幅広い知識や技術を身に付けます。
- （継続）地域の身近な課題についても積極的に学び、学習の成果を地域活動やボランティア活動に結びつけます。

IV 地元企業との連携

- 【方 針１】企業との連携による交流強化を図り、相互共助による安全・安心のまちづくり及び地域活性化を目指します。
- （継続）地元企業とまちづくりに関する意見交換の場を作り、地域のまちづくりに対する理解と協力が得られるよう働きかけ、地域の行事やイベントへの参加を促します。
- （継続）地域の防災力や防犯力を高めるため、協力を得られる地元企業と連携し、緊急時の避難のあり方などの意識の共有を図ります。

V 地域コミュニティの推進

- 【方 針１】地域で活動している団体が相互に交流し、協力して温もりのある助け合う地域づくりを推進します。
- （継続）民生児童委員、福祉協力員、町会役員などが連携し、ひとり暮らしの高齢者に対する地域福祉活動やボランティア活動に積極的に取り組みます。また、活動の担い手である若年層の育成にも力を入れていきます。
- （継続）あいさつ運動を継続して実施します。
- （継続）ふれあいサロン事業に取り組む団体の数を増やし、様々な世代が気軽に交流できる場とします。特に若者世代が積極的に参加できるよう取り組みを強化します。
- （継続）不動産取引を行う事業者などと連携し、町内会未加入者への加入を勧め、地域行事に積極的に参加するよう働きかけます。
- （継続）お祭りや運動会などを継続して実施し、気軽に住民がふれあえる機会を増やします。
- 【方 針２】地域の史跡、名所を活用した事業を推進します。
- （継続）地域コミュニティ等支援事業を活用し整備した史跡の案内看板や史跡探訪マップを利用した、小学生向けの授業に対し継続して支援します。

VI 若年層のまちづくりへの参画

- 【方 針１】若年層の地域活動への参加を促し、次世代の地域を担う人材を育成します。
- （継続）三河台学習センターと連携し、地域で活躍する高校生や中学生が地域活動に参加しやすい体制を構築します。
- 【方 針２】地域課題解決のため、子どもたちが主体的に取り組める事業を推進します。
- （継続）三河台リーダーズクラブが作成した、「中央西地区まちづくり提案書」の提案内容を踏まえて事業を実施し、世代を超えた交流活動に取り組みます。



【三河台リーダーズクラブまちづくり提案】

VII 環境への配慮

- 【方 針１】ごみ減量に対する住民の意識を高め、ごみ排出量の低減を促進します。
- （継続）市のごみ排出量の現状やごみ減量の手段・方法を明記した町会だよりを配布します。
- （継続）市と連携しながらごみに関するテーマ別の講習会を開催し、各家庭、個人の自覚と認識を高めます。
- 【方 針２】地域総ぐるみで環境美化活動を推進します。
- （継続）道路の清掃作業や公園の除草作業に取り組みます。
- （継続）環境美化に関するイベントの企画や啓発ポスターの作成などを地区の中・高校生と協力して実施します。

VIII 健康づくり

- 【方 針１】体力向上と健康寿命延伸のためのレクリエーションの充実を図ります。
- （拡充）各種団体が健康体操教室を実施し、健康増進と健康寿命延伸に取り組む仲間を増やします。
- （継続）三河台学習センターと連携しみんなで歩こう三河台などのイベントへ積極的に参加します。